

令和7年 2月 28日

茨木市議会議長

福丸孝之様

茨木市議会議員

塚 理

令和6年度 政務活動費収支報告書

1	収 入	政務活動費	200,000 円
---	-----	-------	-----------

2 支 出 (単位: 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	0	
広 報 ・ 広 聴 費	399, 504	市政報告作成費及び新聞折込広告費
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	399, 504	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 0 円

令和6年度 政務活動費金銭出納簿

[illegible]

(議員-1)

支 払 伝 票

議員名 塚 理

項 目	広報・広聴費
実 施 年 月 日	令和7年 1 月 17 日
金 額	399,504 円
内 容	市政報告作成費及び新聞折込広告費
支 払 先	豊栄印刷株式会社
支 払 年 月 日	令和7年 1 月 17 日
出 納 簿 記 入	記 入 済
摘 要	市政報告作成費及び新聞折込広告費の半額分

領収書等貼付用紙

No.

2025 年 1 月 17 日

様

4799,007-

但し、フライド-Vol.17印刷代及び新聞折込代
上記の金額正に領収いたしました

豊栄印刷株式会社

531-0072 大阪市北区豊崎6丁目
Tel. 06-6371-2876 Fax. 06-6371-
info@e-hoei.jp http://e-hoei.jp

登録番号 T4120001070282

領収証

20

※領収書等は重ならないように枠内に貼付してください。

請 求 書

〒 567-0001
大阪府茨木市安威1

2024年 12月 31日

豊榮印刷株式會社
〒531-0072 大阪市北区豊栄

塚 理 様

毎度お引き立てありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。

お客様コード	締日	頁数	お支払予定日	担当
	31	1/1	2025/01/31	101

登録番号：T4120001070282

前回御請求残高	御入金額	繰越額	当月御買上額	内非課税額	消費税額	当月合計額	合計御請求残高
			1535650	0	153565	1689215	

[illegible]

お振込先

つかさとる

茨木から国を変えた!実現力!!

茨木市議会議員 48歳

塚理

◎医療、福祉問題 ◎子どもたちを取り巻く問題
◎働き盛りのサラリーマンの政治参加

議員通信Vol.17



子ども達の未来を守る! 茨木市から国を動かした!!
～ワクチンの予防接種記録保存期間が延長へ～

「塚さんの記事が新聞やネットニュースに大きく掲載されているよ」、5月22日の早朝の電話から始まり、現在に至るまで全国の皆さんから多くの励ましのお言葉をいただきました。

2022年6月の定例議会での質疑が始まりました。新型コロナウイルスワクチンや子宮頸がんワクチンの副反応への不安を様々な場面でお聞きすることがあり、調査をしていました。

そこで、国が進めているPHR（個人の健康・医療データ）の取り組みと旧来の予防接種法の縛りとの間で法体系が合致しておらず、予防接種記録が5年間で破棄されてしまうことに気がきました。

万一の場合、第2のB型、C型肝炎訴訟になるかもしれないと感じ、本市では国への働きかけとともに接種記録保存期間の独自延長を検討いただき、議会内外でも様々な団体の有志と共に行動することで、全国の自治体にて同様の質疑が拡がりました。

また、医学会の講演にも招聘されることで、様々な分野で問題が共通認識された結果、厚生労働省が法律の見直しに動くことに結びつき、皆さんや子ども達の未来を守ることができました。

③ ④ ⑤ 政治家の覚悟 ～命を守るという言葉に胸に～

「命を守る」との言葉が政治の世界で多用されます。政治家によって言葉の重みが違うのかもしれませんが。

私には大変重い言葉です。私の政治への第一歩を決めるきっかけの一つは医療現場で見てきた崩壊していく地域医療の現状でした。疲弊していく医療従事者、受診する病院がなくなるという患者さん達を目の当りにする一方で、行政も議員も議論をするデータや資料がなく、議会では主観や思い込みが先行し、エビデンスに基づく質疑がなされていない状態でした。

「こんな状態では誰も幸せにならない。自身が医療政策のプロになるしかない」との思いで地域医療の立て直しの研究や勉強を続けてきました。特にコロナ禍の約3年半で多くの皆さんが改めて、医療体制の大切さや必要性を感じられたのではないのでしょうか。「今までの医療体制で十分。近くに病院があるから関係ない」そんな言葉がコロナ禍前には議会内外でも聞かれました。

私は特定の地域や既得権を守るのではなく、20年、30年後の街全体の未来を守るためにこれからも「命を守る」という言葉を胸に、この街から医療を立て直すために躍進します。



地域から日本を変える！議会から地域を変える！

議会から地域を変える！

<議会質問 抜粋>

委員会質疑、答弁等詳しくはホームページにて

私は、議会活動を大きな三本柱でおこなってきました。一つは、マニフェスト2021の実現を目指して。二つ目は、自分の専門分野である、医療・福祉問題について。三つ目は、未来を生きる子どもたちのためのまちづくりに力を入れ、取り組んできました。

2021年 本会議

- ①私立高校の授業料無償化制度について（所得及び府外通学生徒支援）。
- ②子宮頸がん予防について。

2022年 本会議

- ①施政方針への代表質問。
- ②本市の医療政策について（◎医療の公共性について
◎予防接種記録について）。
- ③各種ポイント事業について（共通デジタル通貨導入）。
- ④本市の医療政策について（誘致病院の取組について）。
- ⑤医療資源空白地域の取組について（北部地域医療について）。

2023年 本会議

- ①初期救急における民間活力の導入について（ファストドクター等の民間活力の導入）。
- ②本市の医療政策について（◎初期救急における民間活力の導入 ◎予防接種記録保存期間について）。
- ③理系人財を応援するまちについて（大学生、大学院生及び研究所への独自支援）。

2024年 本会議

- ①医療資源不足地域対策について（◎巡回診療について ◎開業支援について）。
- ②公共交通を守る取組について（◎山間部、丘陵部路線について ◎安威団地方面路線について
◎イオン株式会社、各大学等との官民連携について）。
- ③本市の医療政策について（◎誘致病院への支援について ◎医療機関の臨時休業について）。
- ④聴覚障がい者支援について（加齢性難聴者への支援について）。
- ⑤障がい児通学支援について。



原本は、市議会事務局で
保管しております。

この街のために私ができること！



PTA講演会にて講演

約3年半がコロナ禍であったこともあり、私は議会内外で自身の専門性（議員の職務を行う一方で、疫学、公衆衛生学、予防医学を専門分野として研究を行っている医科学の研究者）を活かした活動をさせていただいてきました。常に頭の中にあったのは「この街のために私ができることはないか？」との考えでした。各学校PTAや地域の子育て広場で「新型コロナウイルスやワクチンへの疑問点」の講演を皮切りに、全国若手議員の会や子どもコロナプラットフォーム、各政治塾や京都大学大学院の研究室においても本市での課題や取組を講演し、第28回日本薬剤疫学会では特別発言に招聘され「ワクチンの予防接種記録の問題点」を講演しました。これらの活動で感じた事は、SNS等での情報を鵜呑みにされている方が思った以上に多く、リテラシーの有無の重要性を強く感じました。

これらの活動は小さなことかもしれませんが、しかし、議会内外から地域を変えていく一歩になると信じ、これからも取り組みを進めてまいります。

第28回日本薬剤疫学会学術総会

16:30-18:00

シンポジウム3
リスク管理計画（RMP）と患者市民参画（PPI）をつなぐ：
ヘルスリテラシー、コミュニケーションの視点から
座長：山本 勉（熊本大学）
特別発言：塚 理（茨木市議会議員）
医療品リスク管理計画（RMP）に基づくリスク最小化活動の
実態：製薬企業への質問紙調査
佐井 真（京都大学）
情報を「作成する」場面と「受け取る」場面の患者市民参画
北澤 京子（産康ジャーナリスト/京都薬科大学）
ネトリアミン麻のリスクコミュニケーション
杉森 裕樹（大東文化大学）
医療品リスク管理における患者市民参画の意義と情報基盤の
必要性
佐藤 剛道（東京理科大学）

街頭演説

令和5年5月に新型コロナウイルスが5類移行されるまでの間、医療従事者の伴侶の仕事と子ども達への対応のため街頭活動ができなかった時期がありました。申し訳ございませんでした。現在もできる限り朝晩の演説は、月曜日～金曜日、従来どおり行っています。（朝7時すぎ～8時半・夜18時半～19時半）街頭演説の際にも皆さんのお声をお聞かせ下さい。※一部、駅を変えて街頭演説を行っている曜日もあります。また、仕事の都合で街頭演説ができない日もあります。

塚 理（つか さとる） 経歴 茨木市議会議員 48歳（5期目） 昭和51年12月5日 茨木市 安威生まれ
私立安威幼稚園 卒園 茨木市立安威小学校 卒業 茨木市立北陵中学校 卒業
大阪青凌高等学校 卒業 龍谷大学社会学部社会学科 卒業
小野薬品工業株式会社にて医療現場での勤務を経て市議会議員へ
大阪市立大学大学院 創造都市研究科 修士課程修了
研究論文「都市近郊農業のこれから」は時事通信社により全国に発信され
大きな反響を呼ぶ 自治医科大学大学院 医学研究科 卒業
日本初の研究論文「都市部における二次医療圏と救急搬送との関連性について」を発表 現在、京都大学大学院 医学研究科にて疫学、公衆衛生学、
予防医学を軸に茨木市をモデルとした地域医療政策を研究中



発行責任者：塚 理（つか さとる）

部内検討資料

活動報告には書ききれない想いもホームページに記載させていただいています。
<http://www.tsuka-satoru.com/> 「塚理 茨木市」で検索いただければヒットします。